

Introductory Presentation by Companies

企業プレゼンテーション

These presentations will be presented by Japanese.

16:20 ~ 16:40, Wednesday, December 11
Special booth ① in the exhibition and event Hall

トミーデジタルバイオロジー株式会社

全波長スペクトルサイトメーター AuroraとCITE-seq用試薬TotalSeqのご紹介

近年新たな蛍光色素やフローサイトメーター開発が進み、フローサイトメトリー実験のマルチカラー化が進んでいる。

Cytek Auroraは全レーザー全波長検出のスペクトルサイトメーターで、3レーザーで24色以上、5レーザーで35色以上の検出が可能な新世代のフローサイトメーターである。

一方、2017年にオリゴヌクレオチド標識抗体を用い、RNAと同時に抗原の発現をシーケンサーを用いて測定するCITE-seqテクノロジーが発表された。BioLegendは昨年CITE-seq用試薬であるTotalSeq製品を販売開始した。

本セミナーではCytek Auroraの概要とマルチカラー実験の一例及び、TotalSeqを用いたCITE-seq実験の概要、一例を紹介する。

17:00 ~ 17:20, Thursday, December 12
Special booth ① in the exhibition and event Hall

ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社

44色以上の超多色細胞解析をシンプルな操作で実現するスペクトル型セルアナライザー 最上位機種『ID7000™』のご紹介

ソニーはフローサイトメーターの新商品として、44色以上の超多色細胞解析をシンプルな操作で効率的に実現するスペクトル型セルアナライザーの最上位機種『ID7000™』を発売します。

本機は、ソニー独自の最新のスペクトル解析技術を結集し、最大7つのレーザーと計188チャンネルの光検出器、解析アルゴリズムを用いることで、超多色かつ高精度な解析を実現しました。これにより、多種多様な細胞集団の中から希少な細胞の検出を、一度の解析で可能にします。

本セミナーでは、実際に『ID7000™』で解析したデータを紹介しながら本機の特徴を説明し、科学的知見を深める包括的な研究結果等をご覧いただきます。展示ブースと合わせて、ご来場をお待ちしております。

17:00 ~ 17:20, Thursday, December 12
Special booth ② in the exhibition and event Hall

フリーダイン株式会社

CyTOF技術は、血液中や組織切片での免疫細胞の解析方法として広く利用されるようになってきました。この技術を用いると、一度に50個のタンパク質の解析が金属標識した抗体を用いて可能です。その応用範囲は、がん免疫、炎症、感染、自己免疫疾患、一般的な免疫モニタリングなどに広がっています。最近発売されたMaxpar Direct Immune Profiling Assay (MDIPA)は、Human ImmunoPhenotyping Consortium (HIPC)が2012年に推奨した23個のマーカーを30個に増強し、しかも、金属標識抗体パネルを1個のTubeにプレ充填されています。全血またはPMBCでの染色・測定が可能で、専用ソフトにて5分で37populationの解析結果を得ることができます。このMDIPAは、欧米ではすでに50を超える治験で採用されています。